

平成23年度(後期)学生表彰者

賞名	学 科	氏 名	主な業績	賞名	学 科	氏 名	主な業績	賞名	学 科	氏 名	主な業績
優秀賞	機械工学科	堤 浩晃	在学5年間に於いて学業成績が優秀で人物が優れている人物に贈られます。	皆勤賞	機械工学科	奥村 光喜	在学期間中欠席欠課がなかった学生に与えられます。但し、同一科目における遅刻早退は3回で欠課1時間とみなされます。	皆勤賞	情報工学科	小河 亮	在学期間中欠席欠課がなかった学生に与えられます。但し、同一科目における遅刻早退は3回で欠課1時間とみなされます。
		吉川 大貴				木田 誠				辰己 晃司	
	電気工学科	高田 良平				塩川 昌也				西畑 洵	
		山口 大輝				寺坂 勇紀				福岡 秀治	
	電子制御工学科	伊藤 直輝				中出 貴裕				大下 果波	
		鈴木 信吾				吉川 大貴				大林 千紘	
情報工学科	Lim Yang Chau	大庭 孝治	田口 翔悟								
	里中 沙矢香	奥田 禎孝	竹内 大貴								
物質化学工学科	宮本 拓弥	落窪 陽平	中川 孝基								
	小柳 徹弥	梶本 卓史	福村 涼								
物質化学工学科	田中 利奈	新谷 祐介	細谷 遼平								
	西井 洋介	高雄 康大	道川 滉介								
特別賞イ	機械工学科	吉井 謙介	西尾 隆志	山本 裕介							
		水谷 早苗	山口 大輝	吉田 有希							
情報工学科	矢野 完人	河内 巧	専攻科論文発表賞	機械制御工学専攻	中西 順	専攻科在学期間中、論文等の特に優れた研究成果が認められる者に贈られます。					
	岡田 卓也	藤原 惇嗣			電子情報工学専攻		福井 斉				
柘植 和哉	古川 和暉	化学工学専攻					佐古 真				
物質化学工学科2年	緒方 七海			牧野 孝史			特別賞ロ	機械工学科5年	丸山 泰佑		
	川上 望美			松永 拓也	電子制御工学科5年				伊藤 直輝		
松村 優里香	森本 峻行	電子制御工学科3年		海本 祐真							
海本 祐真	山崎 翔太										

平成23年度 TOEIC表彰者

賞名	学 年・学 科	氏 名	賞名	学 年・学 科	氏 名	賞名	学 年・学 科	氏 名
TOEIC 優秀賞	機械制御工学専攻1年	芝井 厚	TOEIC 奨励賞	化学工学専攻2年	石橋 葵	TOEIC 奨励賞	電気工学科3年	東井 孝途
	機械工学科5年	堤 浩晃		化学工学専攻2年	佐古 真		電子制御工学科3年	佐古 翔汰
	機械工学科5年	吉川 大貴		電気工学科5年	高田 良平		機械工学科5年	坂本 泰希
TOEIC 奨励賞	電子制御工学科3年	海本 祐真		電気工学科5年	吉本 拓矢	電気工学科5年	浦岡 元之	
	機械制御工学専攻2年	西本 隆泰		電子制御工学科5年	堀尾 亮介	物質化学工学科5年	金谷 修嗣朗	
	機械制御工学専攻2年	松本 達矢		物質化学工学科5年	岩川 卓矢	物質化学工学科5年	田中 智裕	
	電子情報工学専攻2年	福井 斉	電気工学科4年	竹山 紘平	電子制御工学科4年	池田 篤史		
	電子情報工学専攻2年	田尻 武義	情報工学科4年	福島 啓介				

【TOEICスコア表彰制度】

今年度から、本校学生の英語力向上のためにTOEICスコアの優秀者に対して、次の基準に基づき表彰制度を制定しました。
 学生諸君が英語力を測る一基準であるTOEICテスト(公開テスト、IPテスト)に一層取り組み、将来の進路(就職・進学)に役立つよう努めるものです。

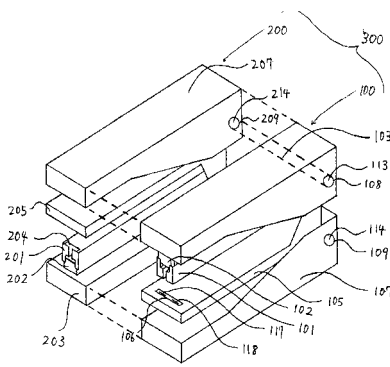
TOEIC優秀賞…本科生・専攻科生のうち730点を越えた者
 TOEIC奨励賞…本科生・専攻科生のうち600点を越えた者
 TOEIC努力賞…本科生のみを対象とし、前年度末時点のTOEIC得点から今年度1月末までのTOEIC得点の比が1.5倍を超える伸び率で成績が向上した者。ただし、今年度のスコアが400点以上の者とする。

君も発明をして特許をとりますか

電子制御工学科 福田 和 廣

最近の円高と海外の労働力が安いことによって、日本の多くの企業は工場を海外に移転している。この傾向は今後も続き、日本人エンジニアに求められる能力は、工場での作業能力よりも、新製品の開発や設計などの上流の技術が出来る能力が要求される。日本政府はこのような現状にかんがみ、これまで培ってきた技術的優位性を維持、発展させるために、特許を中心とした「知的財産立国」を今後目指すことを国家方針と定めた。世界中をマーケットにする製品は、低価格だけでなく、高性能で使い易い製品が望まれる。苦労してよい技術や製品を開発しても特許が取れなければ、すぐに海外の会社に真似をされる。そのため、特許を中心とした知的財産権で守られた技術立国を目指すのが日本の方針である。特許を取れる優れた技術は、一朝一夕では確立できない。それを生み出す優秀なエンジニアを育てることが大切になる。大学や高専に発想豊かな学生を育てることが求められている。

奈良高専の学生諸君の多くは、発明なんて、まして特許なんて無縁の物と思っているのではないだろうか。右図を見てほしい。これは現在5Sの伊藤君が昨年12月に特許権を取った「2段式ホチキス」である。ホチキスを逆向きに2個組み合わせることで、厚い紙束を綴じることが出来るようにしたものである。伊藤君は4年生のときに、このアイデアでパテントコンテスト(パテコン)



2段式ホチキス(伊藤君特許)



(前列左から)海本君と伊藤君、谷口校長と福田